

十和支所管内より



ニワトリのためにー

わらびがわ こうきち
藤川 幸吉さん(78)

ダイコンの葉だけ収穫しています。ダイコンは花を咲かせてしまうとスが入ってしまいますが、葉を刈り取っておくとしばらくは掘らずに畑に置いておけます。

葉を束ねてどうするかって？ 米と混ぜて、ニワトリのエサにするんですよ。兄が10羽以上ニワトリを飼っています。

西土佐支所管内より



チクワを待ってるよ〜

なし 梨 ぶん太くん(7)

僕はチクワが大好き。地元では有名で、ご近所さんからもらうこともしばしばだよ。人懐こい性格で誰にでも尻尾を振るから、僕に会ったら怖がらずにチクワをよろしくね。

生まれも育ちも西土佐だよ。散歩も大好きで、ご主人とは朝と晩、毎日2時間は散歩するんだ。今日の散歩も楽しみ♪

幡豆地区

から こんにちは 今月の 気になる人

大月支所管内より



ナバナの収穫真っ最中

にしもり よしえ
西森 芳枝さん(71)

ナバナを収穫しています。今年は暖冬なので、2月半ばで収穫が終わる見込みです。消毒が必要ないのがナバナの魅力です。夏はシシトウを栽培していますよ。

昨年は初めてサトイモを植えました。少し小さめでしたが、年明けに無事に出荷できました。お小遣い稼ぎですね。

大方支所管内より



明るく優しい大人になってね

むろ い まこと
室井 誠さん(42)
はれ 晴くん(1)

雨が上がって良い天気になりましたね。息子の名前は、晴れた青空のように明るく、皆を照らすような優しい大人に育ててほしいと願って名付けました。

私は5人きょうだいですが、私以外は全員県外で暮らしています。両親には初めての内孫なので可愛がってもらっています。

西土佐支所管内より



ナバナの収穫終盤です

すぎもと あきら
杉本 晃さん(78)

建設会社を退職して20年ほどになります。少しの面積ですが、妻と2人で冬はナバナ、夏はオクラを作っています。

ナバナはもう終わりかけで、そろそろ畑を叩きます。今年は暖冬のせいか、残念ながら品質がよくありませんでした。全て束で出荷していますよ。

中村支所管内より



野菜は鮮度が一番!

こんどう ひでよ
近藤 秀代さん(70)

野菜は鮮度が命ですね。まだ家庭菜園を始めて2、3年ですが、菜園から採れたばかりの野菜はどれもおいしいです。今年はダイコンが上出来でしたよ。

ナバナのおいしい食べ方ですか？ 私は湯通しして水にさらし、ダシ汁と卵とじにする料理が好きです。味噌汁にも入れますよ。

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



幡多地区露地生姜部の初代部員の皆さん

1 地区本部 露地生姜部が発足 水稻に代わる有望品目に一

水稻に代わる有望品目として露地シヨウガに着目していた幡多地区は2月27日、地区本部で露地生姜部の設立総会を開きました。地区内の3市2町1村の18戸(団体含む)が、4月から計132アールで作付けします。同部は栽培講習会や現地検討会をほぼ毎月開くことで、栽培技術の向上と所得増大を目指します。

地区内では施設シヨウガの出荷はありますが、露地シヨウガは初めて。JAは昨年、若手の露地農家を中心に栽培を呼びかけると共に、出荷先に県内のシヨウガ専門の加工業者を選びました。農家は土付きで出荷できるため洗浄機が不要で、新規参入がしやすいメリットがあります。出荷先によると、管内の作付面積は20ヘクタールまで拡大できます。

露地生姜部の初代役員には、部長に四万十市の沢田竜祐さん、副部長に宿毛市の岡井宏文さんと四万十町の(一社)しまんと農楽里さんが就任しました。

現在、宿毛支所の予冷库で種シヨウガを保管しています。4月に定植し、順調に生育すれば11月に収穫できる予定です。



配布された土壌改良材「四万十ゆずくん」

2 西土佐支所 「四万十ゆずくん」配布 ユズ農家に土壌改良材を還元

西土佐支所が加工する土壌改良材「四万十ゆずくん」の配布が2月から始まりました。搾汁用ユズの出荷量に応じた農家への還元で、中旬までに四万十市と四万十町、黒潮町のユズ農家174戸に、計740袋を配布しました。

「四万十ゆずくん」は1袋40ℓ入りで、ユズの皮と種を原料に燻炭化したものです。土壌の通気性を高める効果があり、ユズの園地には2月中に施すのがベスト。ユズ以外の作物にも使うことができます。JAは、搾汁用ユズの残渣処理による環境汚染の防止と生産性の向上を目的に、平成13年度に加工施設を整備しました。ユズ農家への配布量は、燻炭の出来高や搾汁用ユズの出荷量によって毎年変動します。同支所は1袋432円で一般販売もしていますが、今年度は既に完売しました。「土壌に施用すると殺菌効果があるのか、病気にかかりにくい」と、利用者に好評です。

同支所ユズ搾汁施設は今年度約588tを受け入れました。果汁はJAが開発した調味料「ゆず塩だれ」などの加工用に使われています。

3 大方支所

特産柑橘せとか出荷出番



今年は大玉傾向の黒潮町特産のせとか

黒潮町の特産柑橘「せとか」の出荷が2月7日、大方支所で始まりました。今年は大玉傾向で、同支所は昨年より2割程度多い6.5tの出荷量を見込んでいます。同町ふるさと納税の返礼品としても人気で、2月末までに全国に発送しました。

同支所は平成28年度から、返礼品として出荷を希望する農家や生産部会の農産物を自治体に供給しています。「せとか」は初年度から始め、今年約1.3tの注文を受け付けました。

4 宿毛支所

協同組合連携でモミジ植樹



モミジの苗を植える児童とボランティア

宿毛市立山奈小学校と小筑紫小学校の4、5年生56人が2月4日、ボランティアのJAや漁協職員らと市内の日平農村公園に植樹しました。同市森林組合やすくも湾漁協、JAなどでつくる市農林漁業協同組合連絡協議会が、平成24年から毎年市内の児童らを招いて開いています。

植えたのは、高さ約50cmのモミジの苗150本。児童は自分の名札をくり付けて成長を願いました。また、宿毛湾では多様な生物が育まれているなど、海や森林の大切さも学びました。

5 十和支所

鎮咳去痰薬セネガ検品・出荷



セネガを検品する薬品会社の職員ら

十和支所は2月13日、同支所流通センターで9戸から平成30年度産のセネガを受け入れました。取引先の薬品会社が、生産者ごとに乾燥具合や汚れの有無などを検品。同月18日に665kgを出荷しました。

セネガは根の部分が鎮咳去痰薬として利用され、医薬品の原料として安定的に需要があります。同支所は30年以上前から出荷取引があり、同年度産は四万十町と四万十市、三原村の計80アールで栽培されました。31年度は82アールで栽培予定です。

6 十和支所

児童が伝統野菜収穫&調理



収穫した「昔ダイコン」を手にする児童

四万十町立十川小学校の4年生6人が2月21日、昨秋校内の畑に種を播いて育てていた伝統野菜の「昔ダイコン」と「昔カブ」、「昔タカナ」の3種類を収穫し、煮物や酢の物、炒め物に調理しました。伝統野菜の栽培から調理までは、栽培農家や行政、JA職員らが協力しました。

同町大道地区に残る伝統野菜の種子を受け継ぐ取り組みの大切さを理解してもらおうと、3年前から始まった出前授業の一環、種とり用に残した昔カブと昔タカナの種は5月にとる予定です。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています!

みんなのひろば

毎回楽しみに読んでいます。私たちの食生活を支えてくれている方々の様子を知らることができ、子どもに食べ物の大切さを伝えることができます。ありがとうございます。



▼食育に役立っているようで嬉しいです。JAは食農教育にも取り組んでいるんですよ。
(宿毛支所管内・34歳)

昨年3月で退職した夫が、年老いて世話ができなくなった母の畑を引き継いでいます。おかげで新鮮な野菜を食べることができ、幸せに思っています。
(大方支所管内・58歳)

▼農産物は鮮度が一番ですものね。お母さまも喜んでいてと思います。
(大方支所管内・58歳)

先日、テレビで有名な林先生が「協同組合」の特集をしていました。「今、世界が協同組合に注目している」と言っていました。私は農家ではありませんがJAを応援しています。
(大正支所管内・72歳)

▼ありがとうございます。ユネスコがJAを含む協同組合を無形文化遺産に登録し、その価値が見直されていますね。

「こうぐり」に変わって、全然知らない遠くの地区のことが分かって良いです! 7地区のリレーを楽しみにしています。
(中村支所管内・66歳)

▼県内全域の情報を紹介できるようになったのは、JA統合のメリットの1つですね。

3歳になる孫がブロッコリーを大好きでよく購入します。生産者の方の紹介や共同選果の様子、料理レシピも紹介されていて、とても良かったです。
(三原支所管内・71歳)

▼実際に調理された方から「おいしかった」と、感想のお便りもたくさん頂きました。

子牛が産まれて5カ月ほど経つと、鼻輪をつける作業があります。いつも寂しい気持ちになりますが、大人になる証だと言いつけています。
(大月支所管内・16歳)

▼牛は鼻輪がついたまま産まれるわけではないのに、今まで意識していませんでした。「大人になる証」との考え方に感心!

西日本豪雨で被災した宿毛支所管内の文旦園地の整備に、職員の方々が頑張って汗を流したんだなあ! と感激しました。
(中村支所管内・72歳)

▼これからも生産者の皆さんに寄り添うJAでありたいです。

平成31園芸年度 高知県園芸品展示品評会入賞者発表!

県とJA高知県が2月2~3日に高知市で開いた見出しの品評会に、野菜27品目368点、果実8品目127点、花き13品目129点の出品がありました。幡多地区の入賞者の皆さん、おめでとうございます!(敬称略)

- | | | | |
|--------|----------------|---------|------------|
| 【野菜の部】 | 高知新聞社長賞 | ナバナ | 杉本和子 (西土佐) |
| | 特別賞 | イチゴ | 野口典久 (宿毛) |
| | 優秀賞 | キュウリ | 松田翔平 (中村) |
| 【花きの部】 | 高知新聞社長賞 | 宿根かすみ草 | 浜村博 (大方) |
| | KUTVテレビ高知社長賞 | ダリア | 上野和代 (大方) |
| | 関西生花市場協同組合理事長賞 | デルフィニウム | 野並増巳 (大方) |

『とさのうと』冬春トマト号発刊

JAグループ高知の情報誌『とさのうと』最新号は3月発行の冬春トマト号です。今回は三原支所管内のユズ農家・岡村優良さんと佐賀支所管内の地産地消に取り組むレストラン・エルバをご紹介します。ぜひご覧ください。読者プレゼントのお申込締め切りは今月末です。お見逃しなく!



『とさのうと』はお近くの支所窓口やATM、直販所などに置いています。ご自由にお取りください。

INFORMATION

お知らせ



第12期あぐりスクール参加者募集

JA高知県幡多地区は、小学生を対象とした「あぐりスクール」(昨年までは「あぐりキッズクラブ」)を開講しています。子どもたちに様々な農業体験を通して「いのち・食べ物・農業の大切さ」を伝え、「自然・環境の尊さ」などを育てるために、今年は「収穫三昧」をテーマに、以下の体験をご用意しました。



- 第1回 5月25日(土) イチゴの収穫・田植え他
- 第2回 7月27日(土) ブルーベリーの収穫他
- 第3回 8月23日(金) トマトの収穫・ピザ作り他
- 第4回 9月28日(土) 梨の収穫・稲刈り他
- 第5回 10月26日(土) サツマイモの収穫・農高体験
- 第6回 12月14日(土) もちつき・記念品作り

- 参加料 年間 5,000円
- 対象 JA高知県幡多地区管内の小学新3~6年生
- 募集定員 30人 ※定員になり次第締切とします。
- 募集期間 2019年4月15日(月)~4月26日(金)

お申込みは、管内の全小学校に配布する申込書をお近くのJA支所にご提出いただくか、企画組合員課(0880-34-5555)までお電話ください。